

子や孫に残したい20年先のまちの姿を思い描くことができますか  
 自分たちのまちは自分たちで守ろう

# 現代版「家守」の育成塾について

## 家守塾の目指すところ

時の流れとともにまちのあり様は変化していきます。今の時代に生きる私たちは、先人が築いたこのまちの良いところを活かし、これから先に残していくべきものは何かを見出し、それを磨いて次の世代に引き継いでいかねばなりません。そうしなければこの町は衰退し荒れさびれていくことでしょう。

大切なことは、まちの将来像を思い描き、自分の立ち位置で出来ることを形にしていく勇氣を持つことです。やりぬく責任感も必要です。それは子育てにも似ているし、事業経営にも通じるものではないかと思えます。

まちの価値を高め育てるとするのは、誠意と根気の必要な作業ですが、この町を大切に思う皆様とこんな仕事に取り組みたいと思います。

## 江戸のまちを町民の力で守った家守制度

江戸時代、不在地主に代わって家屋を管理する役割の町民がいました。家守と呼ばれるこの人たちは店子(たなこ)たちに慕われ、家屋の管理だけではなく、いろいろな面倒事の相談にも乗って、解決に向けた世話をしたり、まちを守るため働きました。

この仕組みを今に取り入れ、まちを守り、まちの価値を高めるため自分の力でできることに取り組む人を育て合おうとするのが、現代版「家守」の育成塾のねらいです。

### 家守の活動で地域の活性を進めていくポイント

- ・各地域がどんなまちになりたいか、ビジョンの描き方がとても重要です。
- ・次にその地域の方針を実現するため、永続していくアイデアを出すことです。
- ・アイデアを出したら形にしていくこと。その積み重ねがまちを作っていきます。
- ・一人の頑張りでは続きません。地域が主体となって自立するマネジメント組織に発展させることが必要です。

—清水先生アドバイス—

## これまでの取り組み紹介

### 第1回家守塾(平成22年9月26日)

家守活動によって東京神田や千代田区の地域再生に成功された㈱アフタヌーンソサエティ清水義次先生を講師に招き、地域再生に取り組む家守活動の考え方を学んだあと、自分たちのまちをどうしたいかを、みんなで話し合いました。

#### セミナーでは

- ① 自分の住む地域の、残すべきものは何だろうか。
  - ② そうしていくための課題・問題は何だろうか。
  - ③ そのためにトライするものは何か。
- みんなで考えました。

遊休不動産が  
 中心市街地に増えると  
 まちの価値は下がります。  
 家主さんは賃して  
 くれないかな？  
 思いきって交渉  
 しましょう。  
 とにかくトライ  
 すること！

ヨソモンの  
 若い人を街ながに  
 呼び込むには、  
 やっぱり家賃が  
 ネットクですね。

◀ 第1回家守塾  
 セミナー風景



# みんなが残したい守りたいと思っている、まちのいいところ

## 本郷・天神橋・JR駅前

天神橋地蔵尊  
 きれいなアーケード  
 大日堂・仏願寺・キリスト教会・  
 唯心院・中央温泉・弁天座  
 路地(散歩道)・古い家並  
 元気をくれる商店主  
 昔ながらの夏祭り



▲唯心院の山門



活用したい  
空き店舗▶

## 本町・市町・長谷街道

古い街並み  
 長谷本寺・太神宮  
 だんじり  
 赤ポスト  
 銀行



▶長谷街道  
長谷本寺の  
薬師如来様



◀市町の  
町並み

## 片塩地区

商業集積地としての活気・商店街活動  
 片塩カルチャーセンター・水曜楽市・  
 高田の星・まちなか文庫・足湯・  
 芸大サロン・竜王宮  
 ちゃんこの会・片塩寄席・おかげ祭り  
 歩いて回れる街並み



▲活用したい  
空き店舗▶



ディスカッションをした結果、高田らしさって何だろうかと、どんな街になりたいのかみんなが思い描いているのは、

- \* 車ブンブンの町ではなくて、コミュニティがあって、優しいまち
  - \* 商店街は活気があって、遊びに来たくなるようなワクワクする魅力のあるまち
- この2つがミックスされたイメージでした。

自分のまちを  
見てまわるって  
楽しいね



## 街なか空き物件見学ツアー（平成22年12月5日）

第1回家守塾では、みんなが残したいと思ったもの、街なかにあるちょっと気になる場所を発見しに、自転車でツアーをしました。高田には何にもいいところがないなんてとんでもない！住んでいる人は見過ごしているけれども捨てがたい宝物がいっぱい見つかりました。もっと一生懸命磨かなくっちゃ…何から始めようか、新しいことが始まりそうなワクワク感を抱いたツアーでした。

## 第2回家守塾（ツアーの後で開催しました）

各エリアの、どの物件を使って何ができるか清水先生のアイデアいっぱい講義を聞いた後、地区別グループでワークショップを行いました。

### 各グループからは

- ・美味しい店を増やしたい……**屋台村をつくったり、B級グルメをしよう**
- ・暮らし製品を製造する、ものづくりのまちという強みを活かしたい……**製造業の直売所**
- ・サティ閉店後活気を失ってしまったまちに新しい店を呼びたい……**文具・和雑貨の店**
- ・ほっとするスペースを設けたい……**～道の駅的複合施設～まちの歴史の案内所**
- ・歩いて回れるほどのコンパクトなまちの強みを活かしたい……**レンタサイクル発着所**
- ・長谷街道の値打ちを伝えたい……**大和高田の歴史とその価値を多くの人と共有したい**
- ・ゴミのない美しいまちなみにしたい……などの提案が出ました。



◀写真提供：  
毎日新聞社



▲第2回家守塾セミナー風景

## まちの価値を高め、まちを守るため、自分は何ができるだろうか…

自分の住むまちをよくしたいと思われる人、思いはあっても、どう行動していいかわからなかった人、あなたも、願いを同じくする人たちと一緒に、まちのために働きませんか。

これまではモデルケースとして中心市街地を対象に、セミナーを開催してきましたが、「家守の役割を担う人」が各地域に現れ、力を発揮して下さることを期待しています。

家守塾へのお問い合わせは／大和高田商工会議所にぎわい大和高田推進課まで ☎0745(22)2201